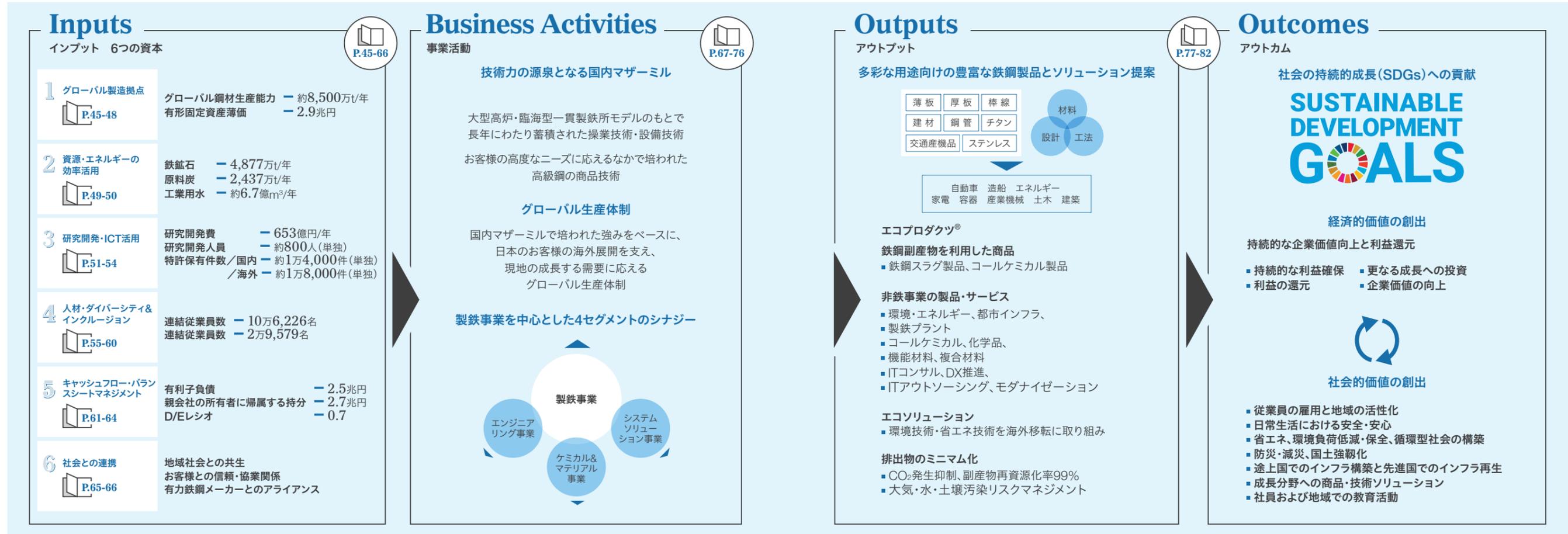


価値創造プロセスと日本製鉄の強み

ビジネスモデル



企業理念 P.02

日本製鉄グループは、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献します。

コーポレートガバナンス P.89-102

すべてのステークホルダーの負託と信頼に応えて、当社グループの健全で持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、当社グループの事業に適したガバナンスの仕組みを整備。経営に関する意思決定の迅速化、経営に対する監督機能の強化等を目的として、監査等委員会設置会社を採用。

ESG課題におけるマテリアリティ P.41-44

1 安全・環境・防災 2 品質 3 生産 4 人材、ダイバーシティ&インクルージョン
5 地域・社会との共生 6 企業価値の向上と利益還元
コンプライアンスの徹底

発展の歴史 P.11-12

当社は、鉄鋼メーカーとして世界をリードし続けるとともに、幾度の危機を乗り越えて発展

世界最高水準のエネルギー効率をはじめとするプロセス技術、お客様のニーズに応える高級鋼技術、グローバル生産体制、製鉄事業を中心とした4セグメント体制など、「技術」「コスト」「グローバル」を強みとするビジネスモデルを確立

当社の強み

	技術	コスト	グローバル
世界鉄鋼メーカートップレベルの研究開発リソース	P.51 ●	●	●
研究開発センターと製鉄所研究部門による高度技術の実践的活用	P.45 ●	●	●
お客様との長期的な信頼関係に基づく共同開発	P.74 ●	●	●
豊富な商品群	P.77 ●	●	●
世界最高水準のエネルギー効率	P.50 ●	●	●
多製鉄所でのトランナー方式	P.69 ●	●	●
大型高炉操業技術	P.69 ●	●	●
高級鋼の安定的大量生産技術	P.69 ●	●	●
鉄以外セグメントとのシナジー	P.75 ●	●	●
グローバル生産体制	P.46 ●	●	●
世界有力鉄鋼メーカーとのアライアンス	P.70 ●	●	●
成長するアジア地域でのプレゼンス	P.74 ●	●	●
高い国内シェア、世界第5位の生産規模	P.74 ●	●	●

実績と見通し P.83-88

2020年度実績

固定費の大幅圧縮により収益構造を改善。海外事業の選択と集中により収益力を向上。2020年度上期コロナ影響での大幅赤字から、下期での単独営業損益黒字回復、連結事業利益V字回復。

2021年度は統合以降最高利益の更新を目指す。

リスク・機会と戦略 P.13-38

鉄鋼需給環境 気候変動

- 国内製鉄事業の再構築とグループ経営の強化
- 海外事業の深化・拡充に向けた、グローバル戦略の推進
- ゼロカーボン・スチールの挑戦
- デジタルトランスフォーメーション戦略の推進